

者交流事業の曜日の設定や開催方法を検討したい。

議員 日常的に家族の世話などをしているヤングケアラーを支援するため、学校関係者はもとより地域全体に理解を促進することについて所見を伺う。

教育部調整担当部長 子ども政策部や健康福祉部と緊密に連携し、コミュニティ・スクール委員会等と協力しながら啓発に努める。

議員 公共施設のトイレについては誰もが安心して外出できる環境整備の視点が必要だ。男性用トイレへのサニタリーボックス設置状況について伺う。



公明党 大倉あき子 議員



不登校児の多様な学びの場の確保を

答 重要な検討課題の一つと認識し、先行自治体を調査しているところだ

議員 文科省の調査結果で不登校の児童・生徒数が過去最多となっている。本市における長期欠席及び不登校の実態について伺う。

教育部調整担当部長 令和3年度の長期欠席児童・生徒は40人で前年度比1.8倍、そのうち不登校は18人で前年度比1.28倍だ。

議員 文科省は誰一人取り残されない学びの保障に向けたCOCCOLOプランで、分教室型も含め不登校特例校を全国に拡大する目標を打ち出した。特例校の設置について所見を伺う。

教育長 他地区の特例校を調査しており、不登校支援に関する研究会で重点的に議論していきたい。

議員 不登校児童・生徒の

況について伺う。

企画部長 市役所や市立図書館全館で設置済みであり、他の施設も利用者のニーズを踏まえ検討したい。

議員 学童保育所の入所希望者が増加し、自宅から遠い学童でなければ入れない子どももいる。帰宅時の安全確保の取り組みを伺う。

子ども政策部長 帰宅時の安全確保の取り組みを行っているほか、危険箇所等の情報を地域団体と共有するなど、地域全体で子どもの見守りを行っており、引き続き指定管理者とも協議しながら取り組んでいく。

保護者が安心して相談できる体制や保護者会の設置を望む声がある。所見を伺う。

教育部調整担当部長 適応支援教室A-Roomで保護者同士が話し合える場を設定しそこから輪を広げられるよう進めていきたい。

議員 医療的ケア児支援法が施行された。全ての子どもが等しく保育・教育を受けられるよう、酸素吸入が必要な子ども等、保育園で受け入れるケアの対象を拡充していくべきだ。

子ども政策部長 法の趣旨を踏まえ、ケアの種類を限定せず、個別のケースごとに園で安全に預かりができるかという視点で受け入れを検討していきたい。

議員 医療的ケア児のデイ



公明党 赤松 大一 議員



読み書き障がい児の早期発見・支援を

答 学校教員や専門職が早期発見に努め、保護者と連携した支援に取り組む

議員 読み書きに限定して困難がある発達性読み書き障がい(ディスレクシア)の疑いのある児童・生徒の把握について、所見を伺う。

教育長 日常的な学習場面における教員の気付きが重要だと認識している。

議員 ディスレクシアによって学習意欲が低下し、学校に行きたくなるなど深刻な問題につながる恐れがある。早期に把握し適切な支援につなげることが重要であり、客観的な検査を行う必要がある。

教育長 気になる児童・生徒の状況を把握できるチェックシートの活用やスクールカウンセラーの巡回、学校心理士による発達相談など外部の第三者の視点からの早期把握に努めている。

議員 タブレット端末やデジタル教科書を活用した読み書き障がい支援の状況を

る。所見を伺う。

市長 喫緊の課題と認識しており、拡充に向け検討していきたい。

同僚。同僚。

教育部調整担当部長 タブレット端末に文字拡大、文章読み上げ機能、文字の書き方支援アプリなどを導入し、各校で活用している。

議員 てんかんの発作は30分以内に鎮静しなければ重たい障がいを残す可能性があると言われ、文科省は、学校において教職員が児童・生徒に治療薬プログラムを投与できるとする事務連絡を発出した。学校側の対応を伺う。

教育部長 保護者との連携や医療的情報の漏えい防止等に努めるよう改めて校長会等を通じて周知したい。

議員 教職員が実際にプログラムを投与することには抵抗感があるのではないかと。教育部長 学校医等と連携し、教職員に基礎知識を周知するための研修を実施することを検討したい。

議員 地域福祉コーディネーターは今後ますます重要



立憲民主緑風会 おばた和仁 議員



地域福祉コーディネーターの拡充を

答 社会福祉協議会と協力し住区ごとの設置に早期に取り組んでいく

議員 地域福祉コーディネーターは今後ますます重要

ずつ配置することを目標としているが、より速やかにかつ小学校区単位の配置とするなど、きめ細かく対応できる体制にすべきだ。

市長 問題は人財の確保であり、社会福祉協議会と協力して人財育成を進めている。段階を踏んだ体制整備を進めていきたい。

議員 市内には車のすれ違いが困難かつガードレールがないなど、危険な通学路がある。通学路の安全対策を強化すべきだ。

交通ネットワーク推進担当部長 カーブミラーや防護柵を設置するために地先の住民の協力を得るなど、細かな調整と改善に努める。

議員 午後の時間帯は車両通行止めの安全対策のない通学路が多い。小学校低学年の下校時間だけでも対策

を検討すべきではないか。

市長 警視庁とも協議しながら進める必要があるが、交通規制の設定は周辺住民の同意を得ることが課題である。ハード面など可能な対策から取り組みたい。

議員 市はコミュニティ創生基本方針(仮称)を策定しているが、コモンズ(共有地)である学校を拠点に小学校区単位の新たな地域運営組織の設置を検討していくべきだ。

市長 歩いて通える小学校区単位のまちづくりは、学校3部制と考え方が合致する要素があるが、地域の運営組織づくりは行政主導ではなく、市民と共に考えていく。

教育長 小・中一貫の学園単位のスクール・コミュニティを推進しているが、交通安全や地域福祉などテーマによっては小学校区単位での取り組みは有効だ。

議員 マチコエ事業において、市民が市政を語り合える場を設置したことは評価する。市民の学びや活動のため、三鷹駅前にも多目的スペース併設型の図書館の設置を検討すべきでないか。

都市再生部長 三鷹駅前再開発事業の公共施設整備の中で、多様な利用を想定した施設を考えている。



交通規制のある通学路



立憲民主緑風会 谷口 敏也 議員



朝の校庭開放を全小学校で実施せよ

答 学校の始業時間まで安全に過ごせる居場所づくりに向け検討を進める

議員 保育園は朝7時から預かる園もあるが、学童保



朝の校庭開放の様子(第三小学校)

育所は朝の延長保育を利用して8時からとなる。この時間の差は保護者にとっては大きな問題だ。一部の学校で実施している朝の校庭開放を全校で実施すべきと考える。所見を伺う。

子ども政策部長 ニーズ把握を踏まえ、地域子どもクラブの毎日実施への拡充を図る中で検討したい。

議員 杉並区の小学校で、校庭に残されていた釘で児童がけがをした。市立小・中学校でも早急に校庭を点検すべきだ。現状を伺う。

教育長 5月に全22校を点検し、計12本の釘等を全て除去した。現在、地中に埋まっている危険物を除去するための金属探知機による確認の準備を進めている。

議員 学校における事故防止のため、部活動指導員や指導助手にも普通救命講習を受講してもらうことも必要と検討したい。

要だ。所見を伺う。

教育部長 受講時間の確保が困難であるが、今後の検討課題としたい。

議員 地域子どもクラブの指導者や協力する保護者にも受講が必要ではないか。

子ども政策部長 応急対応スキルを向上させる機会を設けることを検討したい。

議員 災害時在宅生活支援施設の管理運営を担う地元の町会・自治会が、地域の避難所の運営も担当している現状を改善すべきと考える。所見を伺う。

市長 NPO法人Mitakaみんなの防災と連携して共助の担い手となる市民や団体等を増やし、役割分担ができるよう進めたい。

議員 都の一関東大震災100年町会・自治会防災力強化助成」を、町会・自治会が活用できるよう、PRと支援が必要だ。現状を伺う。

市長 町会・自治会の人々が集まる機会を捉え、周知に努めている。

議員 井の頭公園や野川公園など都立公園を活用し、市が独自にドッグランを整備することについて市は前向きに検討すべきだ。

都市整備部長 運営体制や予算の課題、近隣の理解等の課題を確認しながら、慎重に検討したい。

議員 物価高騰が暮らしを直撃し、学校給食費無償化



日本共産党 紫野あすか 議員



学校給食の無償化を早急に行うべきだ

答 継続的に8億円余を捻出することの判断もあり現時点で実施は困難だ

議員 物価高騰が暮らしを直撃し、学校給食費無償化